

第27回 田辺市スポーツ賞

■問合せ スポーツ振興課 市民スポーツ係 (☎ 0739-25-2531)



スポーツ顕彰

国際的なスポーツ大会に出場し優秀な成績を取った方又はこれに準ずる方



ひとみ
西山 史扇
(カヌー/神子浜)
和歌山県教育庁

平成27年度日本カヌー
スプリント選手権大会
WK-1 1000m・500m
1位

■受賞者の皆さん (3月6日@表彰式にて)



市民や市出身の方で、スポーツ振興に貢献された方や国内・国際スポーツ大会に出場し、優秀な成績を収められた方を対象にスポーツ賞を贈り、その功績をたたえています。(敬称略)

スポーツ賞

全国規模のスポーツ大会に出場し優勝した方又はこれに準ずる方

【個人の部・17名】

- カヌー 阪本直也
- 少林寺拳法 谷口 藍梨、濱中 珠穂、早田佳那子、山崎 萌、橘 知希、萩原 亘、恵中 崇敬
- 馬術 輪玉 もえか
- ボート 永野 景子
- 卓球 金谷 俊助
- 陸上 杉浦 晴大、廣畑 賢、橋本 有貴、米田 昭朝
- フライングディスク 古久保 喜朋、吉本 比出代

【団体の部・9団体】

- 第70回国民体育大会 和歌山県代表チーム
- ◇サッカー(少年男子) 森下 尚人
- ◇体操(成年男子団体) 柴田 快輝、楠川 雄太
- ◇剣道(成年男子) 田中 紀行
- ◇空手道(組手団体) 井本 匠
- 神島高等学校カヌー部(男子) 寛座 竜馬、楠本 海斗

■神島高等学校カヌー部(女子)

- 坂本 泉、小谷 春菜
- 神島高等学校少林寺拳法部(男子) 水永 章、稲豊 堅政、佐藤 和也、岩見 涼、北原 優平、橘 知希、萩原 亘
- 神島高等学校少林寺拳法部(男子) 水永 章、今井 翔太、佐藤 和也、岩見 涼、北原 優平、橘 知希、萩原 亘
- 神島高等学校少林寺拳法部(女子) 濱中 珠穂、早田 佳那子、谷口 藍梨、山本 千保、山崎 萌、平山 千佐

スポーツ奨励賞

全国規模のスポーツ大会に出場し優秀な成績を取った方

【個人の部・19名】

- カヌー 小谷 昇平、橋本 瞭、坂本 泉、大戸 文吾
- 少林寺拳法 今井 翔太、水永 章、北原 優平、佐藤 和也、中西 順子
- バレーボール 玉置 菜有
- 陸上 井谷 鼓、横堀 雅孝、岡山 翔、上森 力、森岡 祐哉、谷本 真
- ボウリング 竹内 秀明、中川 高義
- フライングディスク 奥山 礼都
- 【団体の部・12団体】
- 田辺工業高等学校体操競技部(男子団体) 長坂 朋哉、佐々木 伶緒、筒井 宏樹、高田 佑貴、横山 秀也、木本 大晴

■第70回国民体育大会 和歌山県代表チーム

- ◇ホッケー(成年女子) 船田 悦子、小川 紗也香、松葉 美穂
- ◇体操(少年男子団体) 長坂 朋哉、佐々木 伶緒、筒井 宏樹、高田 佑貴
- ◇新体操 曾我部 奈々
- 田辺カヌースプリントクラブ 湯川 翔太、岡崎 快理、鈴木 琢万
- 熊野高等学校少林寺拳法部(男子) 廣田 晃佑、岡本 侑也、山中 裕貴、山内 大夢、永井 万大
- 田辺高等学校ワンダーフォーゲル部(女子) 上垣 実花、森下 史

■高雄中学校陸上部(女子)

- 山根 亜伽莉、大平 結衣、大峰 野々花、船山 朱里、寺本 桃、小田 梨織
- 神島高等学校陸上競技部(女子) 山本 明日香、木村 仁美、橋本 奈津、野村 蒼、前田 愛海、中村 有利加、尾崎 美緒
- 本宮中学校卓球部(女子) 山本 真広、上山 由愛、上藤 未羽、向久保 加奈、杉山 慧、村岡 ほの香、森 絵海、山本 千遥
- 神島高等学校弓道部(女子) 松浦 可歩、尾崎 真優、武井 沙奈、名越 こそも
- 神島高等学校弓道部(女子) 山本 真広、上山 由愛、上藤 未羽、向久保 加奈、杉山 慧、村岡 ほの香、森 絵海、山本 千遥
- 神島高等学校弓道部(女子) 松浦 可歩、尾崎 真優、武井 沙奈、名越 こそも、尾崎 真優

第26回 南方熊楠賞

■問合せ 南方熊楠顕彰会事務局 (☎ 0739-26-9909)



略 歴

- 1950年5月 山梨県生まれ
- 1974年3月 東京大学文学部宗教学宗教学科卒業
- 1977年3月 東京大学大学院人文科学研究科宗教学専攻修士課程修了
- 1982年3月 東京大学大学院人文科学研究科宗教学専攻博士課程満期退学
- 1993年4月 中央大学総合政策学部教授
- 2006年4月 多摩美術大学美術学部芸術学科教授、同大学芸術人類学研究所所長
- 2011年4月 明治大学研究・知財戦略機構特任教授、同大学野生の科学研究所所長



なかざわ しんいち
中沢 新一 氏

「南方熊楠賞」は、国内外を問わず、熊楠翁の研究対象であった博物学的分野・民俗学的分野の研究に顕著な業績のあった研究者に贈られるもので、第26回受賞者は、人文の部門より、中沢新一氏(明治大学野生の科学研究所所長)が選考されました。

■選考理由(抜粋)

選考委員会 委員長
松澤員子(国立民族学博物館名誉教授)

中沢氏は、著作『チベットのモーツァルト』(せりか書房、1983年)を発表して、1980年代にはニューアカデミズムの若き旗手として一世を風靡するとともに、宗教学という分野を世に知らしめる役割を果たしたと言える。『森のパロック』(せりか書房、1992年)で南方熊楠について語り、『フィロソフィア・ヤポニカ』(集英社、2001年)では西田幾多郎・田辺元を語るなど、日本特有の思想・哲学についても深く探求した事績を持つ。

宗教学を足掛かりとして、人類学や民俗学のフィールドにも歩みを進め、現在は対称性人類学と呼ばれる領域を提示しており、従来の学問の枠組みにとられない研究成果を実現している。特に、独自のアート感覚あふれるフィールドワークの手法を用いる「アースダイバー」は、注目すべき取り組みである。

中沢氏の独創性とトリックスター的な役割は、人文学のみならず、多くの分野に影響を与えた。中でも今回は「アースダイバー」に関する一連の研究が受賞の大きな要因となった。また、選考会においては、民俗学の本質についても的確に把握している姿勢を評価する意見も出た。

■南方熊楠賞受賞コメント(原文)

「南方熊楠」という名前を初めて知ったのは中学生の時でした。父親の書庫で中山太郎の『学界偉人 南方熊楠』という本を読んで、私は驚愕しました。『ほら吹き男爵の冒険』のような(この本は少年時代の私の愛読書でした)痛快な冒険譚もさることながら、日本男児が徒手空拳、当時の世界最高の知性界を向こうに回して一歩も引くことなく、高級きわまりない知的遊戯で圧倒しきっていく、その颯爽たる雄姿に、少年の私はすっかり心を奪われたのです。こんな日本人がいたのだ。こんな人に自分もなりたいたい。

それ以来、南方熊楠は私の最高のヒーローとなりました。私が人類学を学び、神話の研究に打ち込んだのは、南方熊楠の『十二支考』や『燕石考』を読んで感動したからです。私が生物学を学ぼうとしたのも、南方熊楠が偉大な粘菌学者であったからです。私がチベットにまでかけて仏教を学んだのは、南方熊楠が自分もそうしてみたいと書いていたからです。私が西洋の学問を盲信しなかったのは、南方熊楠の精神に忠実であろうとしたからです。

そういう私ですから、自分に南方熊楠の名前を冠した賞が与えられると知った時の喜びは、筆舌に尽くせないものでした。これまで生き努力してきたよかったです。ほんとうにそう思っています。

南方熊楠賞記念特別公開

南方熊楠賞を記念して授賞式当日(5月7日㊤)は、南方熊楠邸の観覧料が無料になります。
南方熊楠顕彰館は14時30分まで閉館(最終入館14時)しますが、南方熊楠邸は17時(最終入場16時30分)まで、ご覧いただけます。

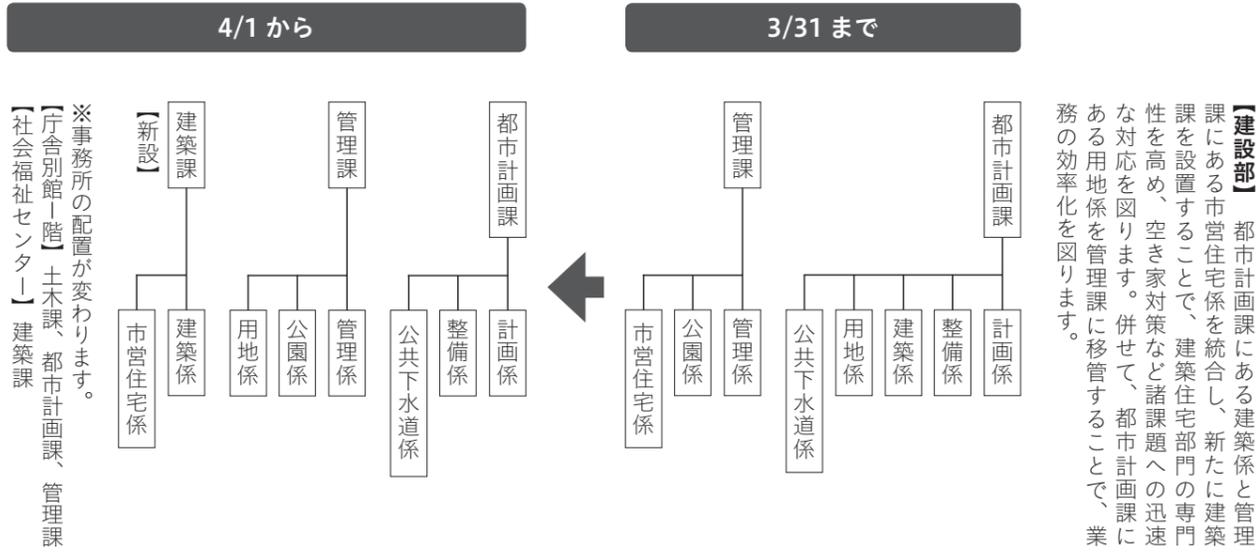
南方熊楠賞授賞式・受賞記念パーティー

<p>【授賞式】 📍5月7日㊤ 13時30分～ 📍紀南文化会館「小ホール」 📍授賞式 ◇記念講演「粘菌と華厳」(中沢氏) 📍200名[先着]</p>	<p>【受賞記念パーティー】 📍5月7日㊤ 17時～(予定) 📍南方熊楠顕彰館 📍60名[先着] 📍3000円(要申込み)</p>
--	---

※授賞式、記念パーティーともに、上記までお申し込みください。

4月1日から市役所の行政機構が一部変わります

■問合せ 総務課 人事係 (☎ 0739-26-9916)

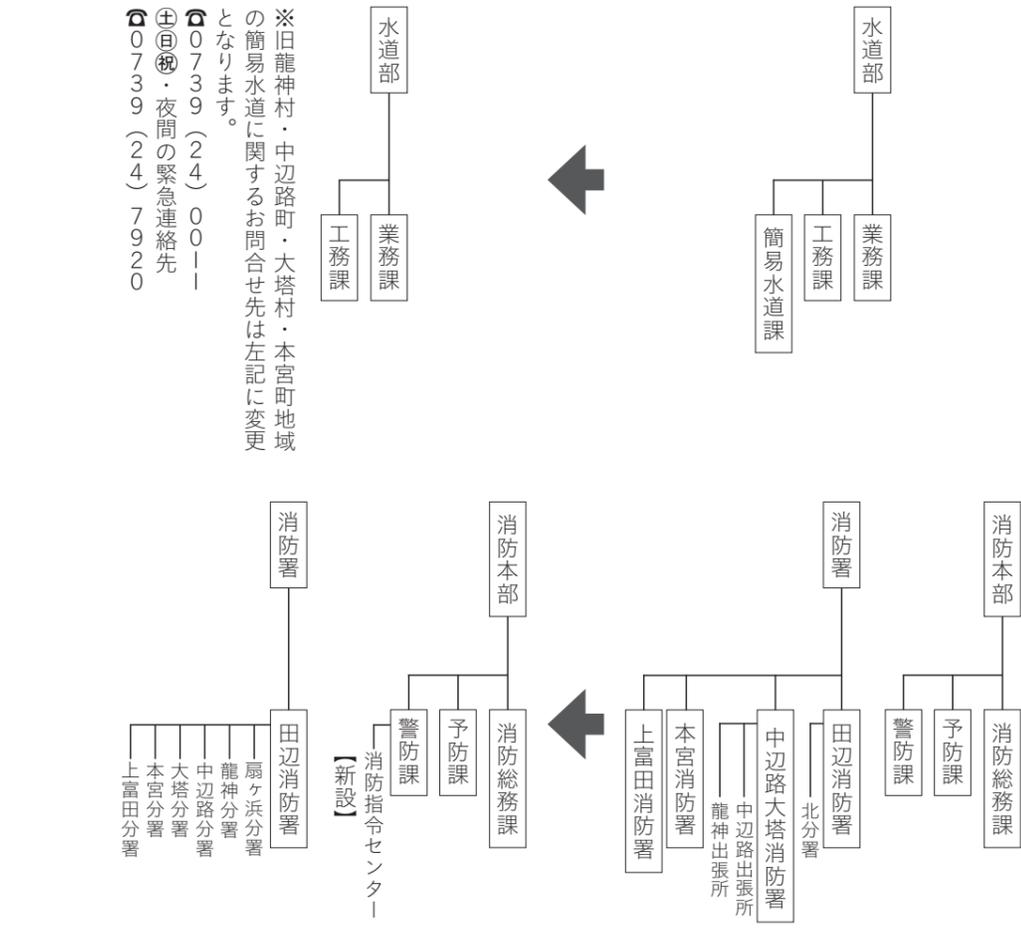


【建設部】 都市計画課にある建築係と管理課にある市営住宅係を統合し、新たに建築課を設置することで、建築住宅部門の専門性を高め、空き家対策など諸課題への迅速な対応を図ります。併せて、都市計画課にある用地係を管理課に移管することで、業務の効率化を図ります。

【教育委員会】 紀の国わかやま国体、紀の国わかやま大会が終了したことに伴い、国体推進室を廃止します。

【水道部】 簡易水道事業の上水道事業への統合（平成30年4月1日）に向けて、水道部内の組織統合を行います。

【消防本部】 地震津波災害に備え、消防庁舎（消防本部・田辺消防署）を高台移転するとともに、消防体制の強化を目的に組織再編を行います。併せて、消防本部警防課内に田辺市、上富田町、白浜町及びすさみ町の119番通報等を共同処理する消防指令センターを併設します。



地域おこし協力隊の受入れ団体を募集します

■問合せ 下記参照



地域課題の解決や新たな価値の創造など、地域の活性化を図るため、地域おこし協力隊の受入れを希望する団体を募集します。

【函】 龍神村・中辺路町・旧大塔村・本宮町・秋津川・長野）に所在する自治会等と一体となって活動する地域づくり団体、NPOなど

※自治会等とは、旧田辺市では町内会、龍神村・中辺路町・旧大塔村・本宮町では、区を対象とします。

■受入れ要件

- ◇地域に協力隊を必要とする明確な理由があること
- ◇地域に世話人となる人材がいること
- ◇地域で住宅を確保できること

■受入れ団体数

5団体程度（予定）
 ☎4月28日④までに、提出書類（導入要望書、写真や資料など導入要望書の記載内容を補足するもの）を下記へ直接提出してください。導入要望書は、下記で配布するほか、ホームページからも取得できます。お申込み後、ヒアリングを実施した上で、受入れ団体を決定します。

【地域おこし協力隊とは】 人口減少や高齢化が進む地域に都市部の人材を配置し、地域の活性化を目指す取組です。最長3年間の活動期間で、住民の思いに添えながら定住・定着を図ります。

■協力隊の活動内容

地域課題の解決や新たな価値の創造に関するもので、次の①に掲げる活動を必須とし、必要に応じて②③の活動についても対象とします。

- ① 農林水産業等の地域産業振興に関する活動「必須」
- ② 地域住民の生活支援に関する活動
- ③ 地域行事及び地域コミュニティ維持に関する活動など

■受入れ団体の募集要項

☎0739(33)7714
<http://www.city.tanabe.lg.jp/tanabeigyou/index.html>

田辺市総合計画審議会委員を募集します

■問合せ 下記参照



現在、平成19年3月に策定した第1次田辺市総合計画に基づき、まちづくりを進めています。本計画が平成28年度で終了することから、平成29年度を初年度とする「第2次田辺市総合計画」を策定します。総合計画は、今後のまちづくりを計画的に進めていくための基本指針であり、策定に当たっては、市民の立場から幅広いご意見をお寄せいただくため、審議会委員を募集します。

【函】 市内在住の満20歳（平成28年4月1日現在）以上で、国又は地方公共団体の議員及び職員でない方

■任期 委嘱の日から市長の諮問事項に係る調査審議が終了する日まで
 ☎4月1日⑤～26日④「消印」に、所定の応募用紙に必要事項と応募する理由・動機（400字程度）を記入の上、郵送・FAX・Eメール又は直接提出してください。応募用紙は下記で配布しているほか、ホームページからも取得できます。

■選考方法 選考委員会を設けて選考し、結果は文書にてお知らせします。

※選考のため選考委員会への出席をお願いする場合があります。

■その他 選任されると、市の非常勤特別職となります。また、審議会は平日の昼間に開催することもありますが、ご留意ください。

【函】 企画広報課 企画調整係
 〒646-8545
 ☎0739(26)9963
 ☎0739(22)5310
 ✉ kikaku@city.tanabe.lg.jp

☎ <http://www.city.tanabe.lg.jp/kikaku/index.html>

◇龍神行政局 総務課
 ✉ ryujin@city.tanabe.lg.jp

◇中辺路行政局 総務課
 ✉ nakahechi@city.tanabe.lg.jp

◇大塔行政局 総務課
 ✉ oto@city.tanabe.lg.jp

◇本宮行政局 総務課
 ✉ hongu@city.tanabe.lg.jp

※各行政局の電話番号等は2ページを参照ください。

農作物鳥獣害防止対策事業（防護柵設置）を一部補助します
【1次募集】

■問合せ 下記参照



野生鳥獣による農作物等への被害を防止するため、農作物鳥獣害防止対策事業（防護柵設置）を実施する農林業従事者又はその団体に対し、資材費の一部を補助します。

■補助金額 事業費（資材費）の2分の1以内

◇上限事業費30万円／下限事業費3万円の補助金額は15万円～1万5千円

◇イノシシ・シカ用 m当たり800円以内の補助金額は400円以内



◇サル用 m当たり2500円以内の補助金額は1250円以内

◇防鳥ネット10a当たり5万4000円以内の補助金額は2万7000円以内

■その他 原則として5年以上の使用に耐えるもの

■4月4日（月）9時～5月31日（日）17時に、申請用紙（交付申請書、事業計画書、収支予算書、見積書、設置場所の見取図、実施前の写真）を農業振興課又は各行政局産業建設課へ直接提出してください。申請用紙は左記にあります。

※第2次募集は9月の予定

※予算の上限に達した場合受付を終了します。

■農産振興課 農政係（庁舎別館2階）

☎0739（26）9930

◇各行政局 産業建設課

☎2ページ参照

事業所・企業の皆さんへ『経済センサス-活動調査』のお知らせ

■問合せ 企画広報課 企画調整係（0739-26-9963）



平成28年6月1日現在で、経済センサス・活動調査を実施します。全国の全ての事業所及び企業が対象です。

この調査は、同一時点で我が国の全ての産業分野における事業所・企業の経済活動の状況を全国的・地域別に明らかにすることを目的としており、国が行う調査の中でも特に重要かつ大規模な統計調査です。

◇支社などがない事業所には、調査員が訪問して、調査票をお配りします。支社などがある企業等には、国が本社などに傘下の支社分の調査票をまとめて郵送します。

◇調査票は5月末までにお

平成28年6月1日 全国全ての事業所・企業が対象です

経済センサス 活動調査

届けます。回答は「オンライン」か「紙の調査票」を選択できます。

※調査の結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として活用されます。

※ご回答いただいた内容は統計作成の目的以外（税の資料など）には、絶対に使用しません。

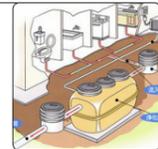
※経済センサス・活動調査を装った不審な訪問者や不審な電話・Eメールなどにご注意ください。

詳しくは、左記のキャンペーンサイトをご覧ください。

☐ <http://www.e-census2016.stat.go.jp/>

きれいで豊かな水環境保全のために

■問合せ 環境課 生活排水係（0739-26-9927）



■単独浄化槽からの転換

4月から、単独処理浄化槽を撤去し、合併処理浄化槽を設置する場合、右記の補助金に加え、撤去費用に對し9万円を上限として補助します。

人槽区分	従来型浄化槽	環境に配慮した浄化槽
5人槽	33万2千円	38万円
7人槽	41万4千円	46万2千円
10人槽	54万8千円	59万6千円

※11人槽以上については、お問い合わせください。

〔田辺市浄化槽設置整備事業費補助金について〕

単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に転換する場合の補助を拡充しました。

■市内の下水道、集落排水等の排水処理施設の整備をしていない地域において、住宅等に浄化槽を設置する方に

■補助金額 浄化槽の設置に要した費用を補助します。ただし、浄化槽の規模（人槽）や種類ごとに上限額があります。

■浄化槽の適正な維持管理

浄化槽法では、浄化槽管理者に3つの義務（保守点検・清掃・法定検査）を定めています。

■保守点検（浄化槽法10条）

保守点検は、県の登録を受けた保守点検業者に依頼してください。

■清掃（浄化槽法10条）

一般家庭の浄化槽では、年に1回以上の清掃を行わなければなりません。清掃は、市の許可を受けた浄化槽清掃業者に依頼してください。

■法定検査（浄化槽法11条）

年に1回、県の指定検査機関（公益社団法人 和歌山県水質保全センター ☎0731-43216433）の行う法定検査を受けなければなりません。

【浄化槽に関する届出】

浄化槽を使用開始（再開）・休止・廃止をする場合、浄化槽管理者に変更があった場合などは、上記へお問い合わせください。

特別展 『鈴木理策写真展 意識の流れ』（田辺市立美術館）
『鈴木理策写真展 水鏡』（熊野古道なかへち美術館）

■問合せ 田辺市立美術館（0739-24-3770）



回 4月16日（土）～6月26日（日）
開 10時～17時（入館は16時30分まで）

休 毎週（月）、5月6日（金）

場 ①田辺市立美術館
②熊野古道なかへち美術館

因 「見ること」への問いを続けてきた現代を代表する写真家の1人、鈴木理策の活動を紹介する展覧会を開催します。

田辺市立美術館では、「見る」という行為から生まれる「意識の流れ」をテーマにした近年の4つのシリーズを展示します。

熊野古道なかへち美術館



▲《Étude 10,F-5 / 2010》 田辺市立美術館で展示
©Risaku Suzuki / Courtesy of Gallery Koyanagi

では、カメラの特徴と水面の特性に着目した最新のシリーズ「水鏡」を特集して展示します。

場 ①600円（480円）
②400円（320円）

※（ ）内は20名様以上の団体割引料金、学生及び18歳未満は無料

【記念講演会 「写真の時間・生きている時間」鈴木理策】

回 4月16日（土）14時から
場 田辺市立美術館
「エントランスホール」

※観覧料のみ必要
※手話通訳があります。